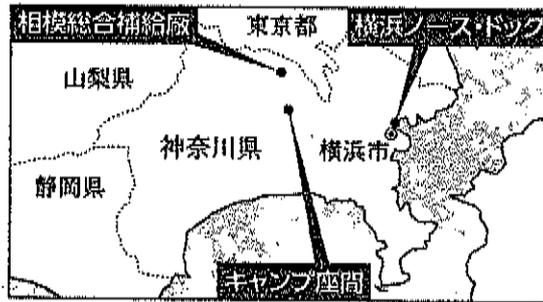


米軍基地に大型施設次つぎ

神奈川県では在日米陸軍基地内でホテルや大型車両倉庫など新たな施設建設・整備が進んでいます。米陸軍が、対中国を想定した敵基地攻撃作戦「マルチドメイン」(多領域)作戦の態勢づくりを進めるなかでの基地強化に、平和団体は「神奈川を米陸軍の先制攻撃作戦の拠点にし、住民に犠牲を強いるものだ」と批判の声を上げています。

神奈川

神奈川県内の主な在日米陸軍基地



部が同居し、米陸軍・海兵隊と陸自が一体となった軍事作戦の拠点となっています。

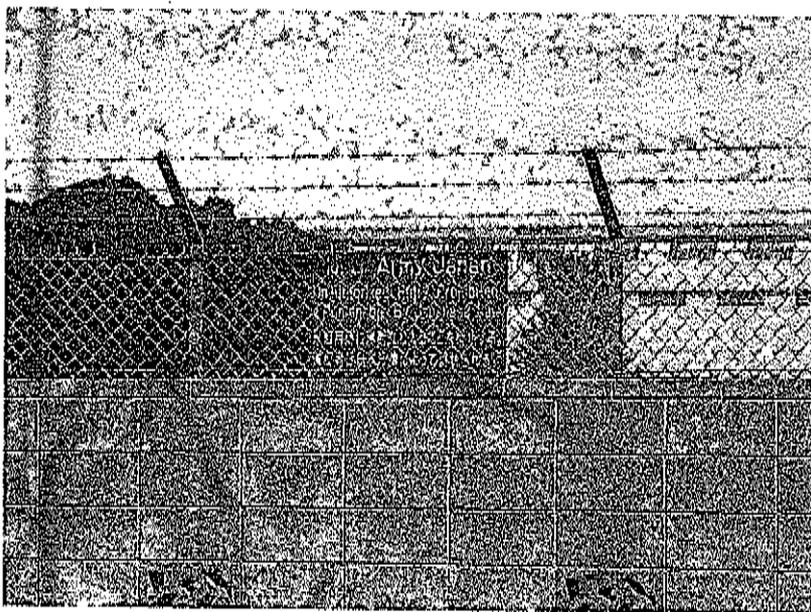
相模総合補給廠(ほぎゅうしょう)は相模原市には2018年10月に嘉手納基地(沖縄県)のパトリオットやグアムの戦域終末高高度防空システム(THAAD)サイード)など防空ミサイル部隊を指揮する米陸軍第38防空砲兵旅団司令部が発足。横浜ノースドック(横浜市神奈川区)には、280人編成の揚陸艇部隊「混成揚陸艇中隊」が配備されるなど、神奈川県内の米陸軍部隊が増強されています。

日米一体で作戦

キャンプ座間にはインド太平洋地域の米陸軍を統括する米太平洋陸軍(ハワイ)の前司令部を兼ねた在日米陸軍司令部があります。そのもとで初期の軍事作戦を指揮し、後続・増援部隊を受

8月17日、米陸軍工兵隊・日本地区は米陸軍キャンプ座間(神奈川県座間、相模原市)に福利厚生施設として独立した居室、食堂を持つ7階建て103室の新たな宿泊施設を建設する業者募集を開始しました。

ホテルや車両庫、拠点化狙う



フェンス越しに見える相模総合補給廠の大型倉庫＝相模原市

21年には、厚木基地（神奈川県大和、綾瀬市）に化学・生物・放射性物質・核に対応するテ

キサス州の陸軍部隊が8カ月にわたり訓練を実施するなど、外来部隊もふくめた演習・訓練も激

化。宿泊施設新設は、そ

強まる戦争準備

相模総合補給廠では、

既存の大型倉庫を車両備蓄倉庫に改修する計画

（入札価格が予定価格を大幅に上まわり25日にい

ったん募集取り消し）が明らかになりました。改修されるのは長さ約120メートル幅約56メートルで車両や雑多な貨物の保管に使用していた倉庫。米国防総省の車両倉庫としての防火規則に適合するよう、消火、火災警報、生命安全、配水、電気システムなどを大幅に改修します。

相模総合補給廠は、一時展開する560人の兵員に食事、野営地、シャワー・洗濯、ペイント弾訓練場を提供する「兵站（へいたん）支援区域」の建設も進んでいます。

米陸軍は日本を拠点に、高機動ロケット砲システム（ハイマース）や極超音速ミサイルによる相手国の基地・防空システムへの攻撃、宇宙・情報・サイバー・電子戦による指揮・統制システム

「先制攻撃拠点つくるな」



するよう後方・兵站戦略を大きく変えようとしています。2020年から太平洋での軍事作戦を支援するための戦争物資の事前配備態勢（AP

S）の拡大・強化に取り組んでいます。米陸軍物資コマンド」によれば、

20年のヨーロッパとイン

神奈川県平和委員会・菅沼幹夫事務局次長

いま米陸軍は、「マルチドメイン戦略」に対応

ド太平洋における一連の演習で、それぞれの戦域のAPSが適正な規模で正確に構築されているかを判断した結果、インド太平洋地域でのAPS強化の方針を出しました。神奈川県内の米陸軍の新たな部隊配備や施設建設で、ますますあらゆる面で基地機能の裏面的な拡大強化が進められることを懸念します。

の無効化を含む「多領域作戦」の態勢を強化しています。

14、23日に北海道や奄美大島で行った「オリエント・シールド23」など

米陸軍が参加する日米合同演習には、ワシントン

州の第1多領域作戦任務部隊が参加し、米海兵

隊、陸上自衛隊と一体の敵基地攻撃態勢づくりが

進められています。